

弾道ミサイル発射に関する アンケート調査結果

対象者:100人=100%

本庁:40人

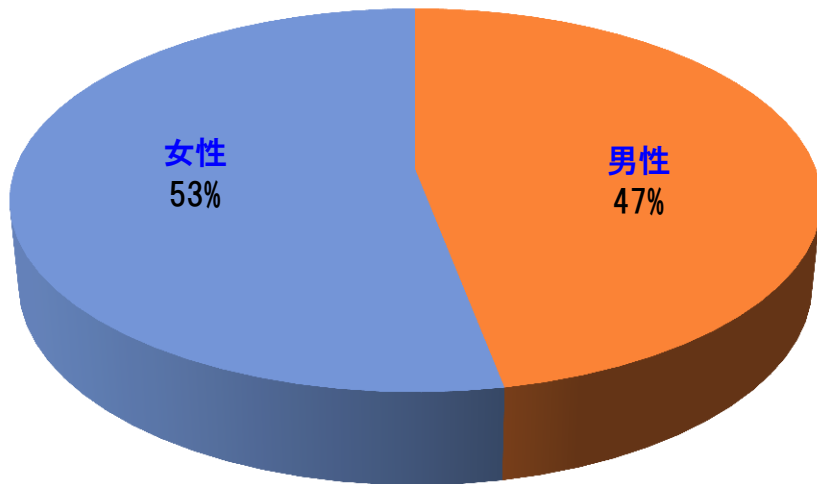
総合支所:各10人 計60人

H29.9.15 6:57~7:16 発射~着弾時の行動

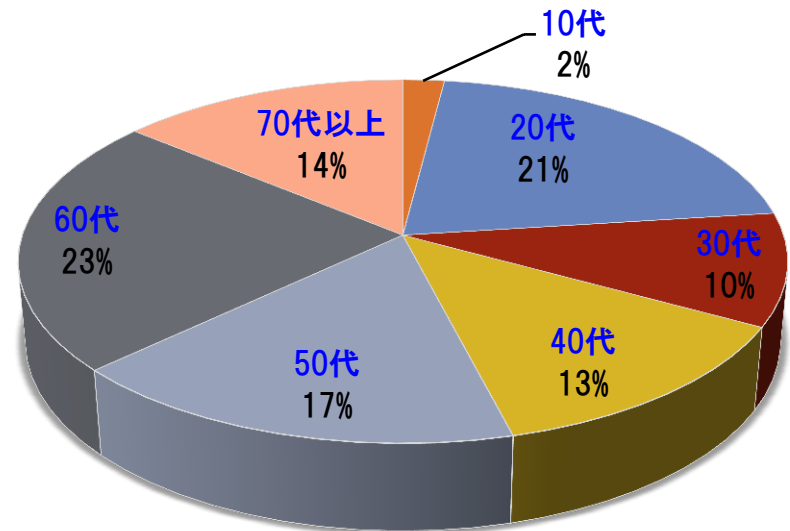
石巻市

問1 性別、年齢について

性別



年齢



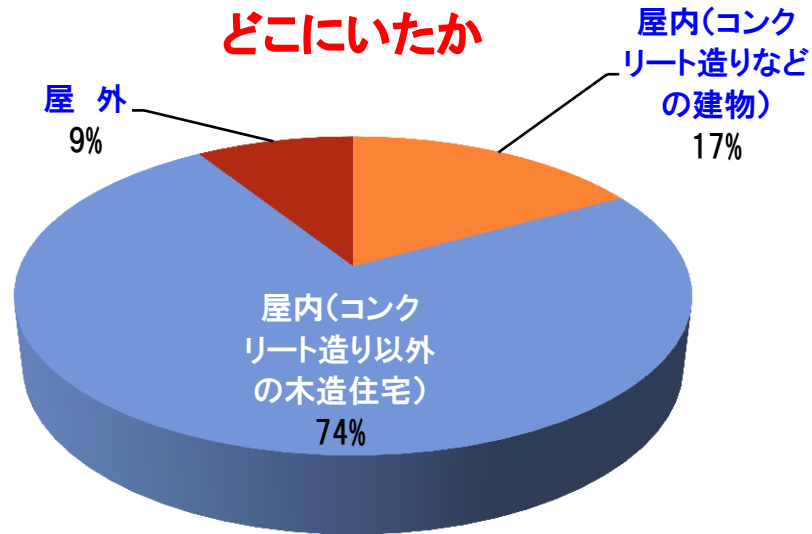
「性別」・「年齢」

本庁舎(市民課窓口・1階入口)及び各総合支所において、担当者が直接聞き取りにて実施した。(性別は、男性女性がほぼ均等、年齢構成も出来る限り均等に実施)

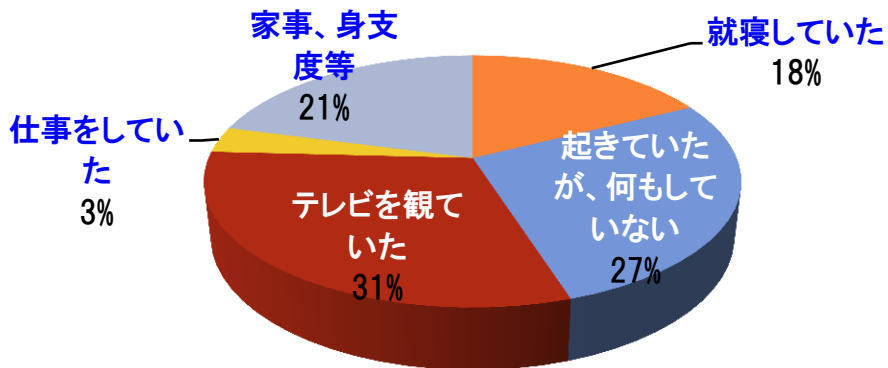


問2 ミサイル発射情報が伝達された時の状況について

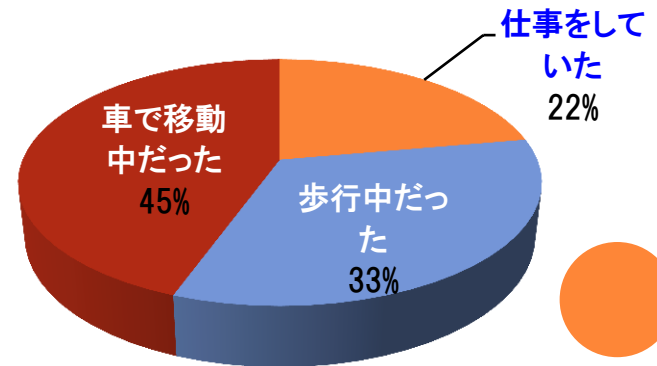
9月15日(金) 6:57



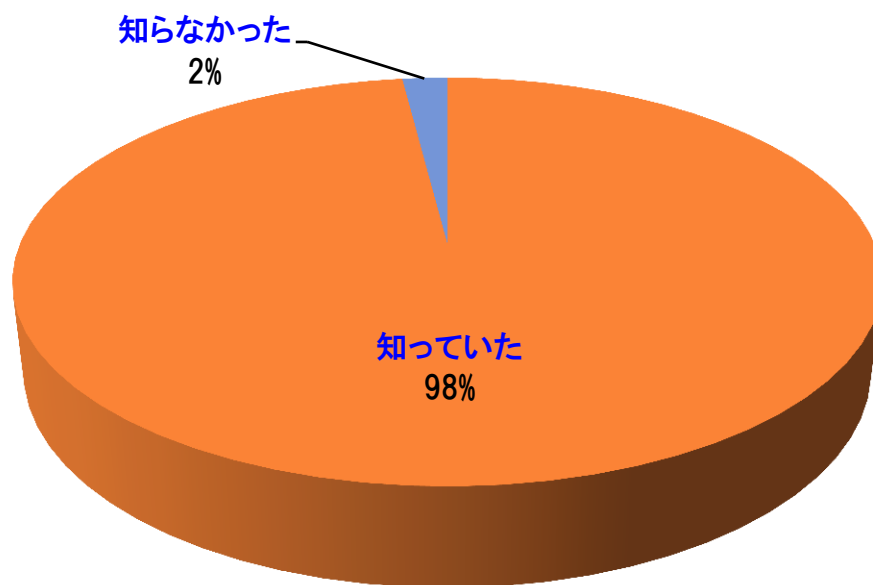
屋内にいた方は何をしていたか



屋外にいた方は何をしていたか



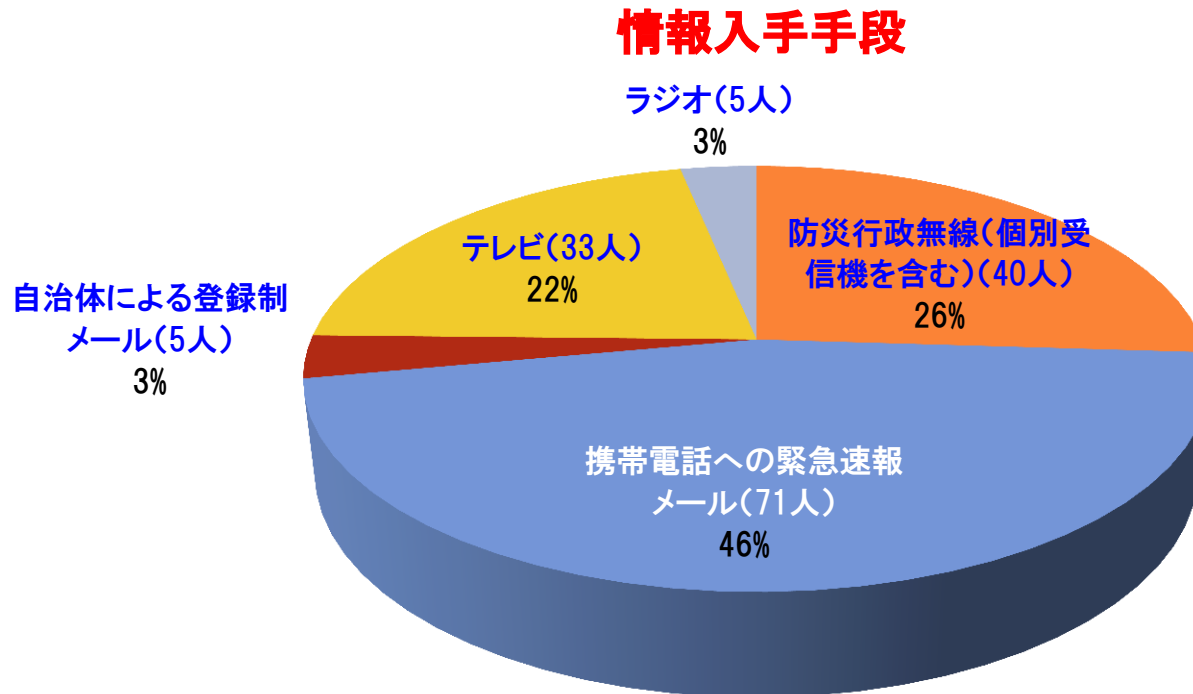
問3 ミサイル発射(6時57分)からミサイル着弾(7時16分)までの間に発射されたことを知っていたか



ほとんどの市民は、ミサイル発射の事実を知っていた。



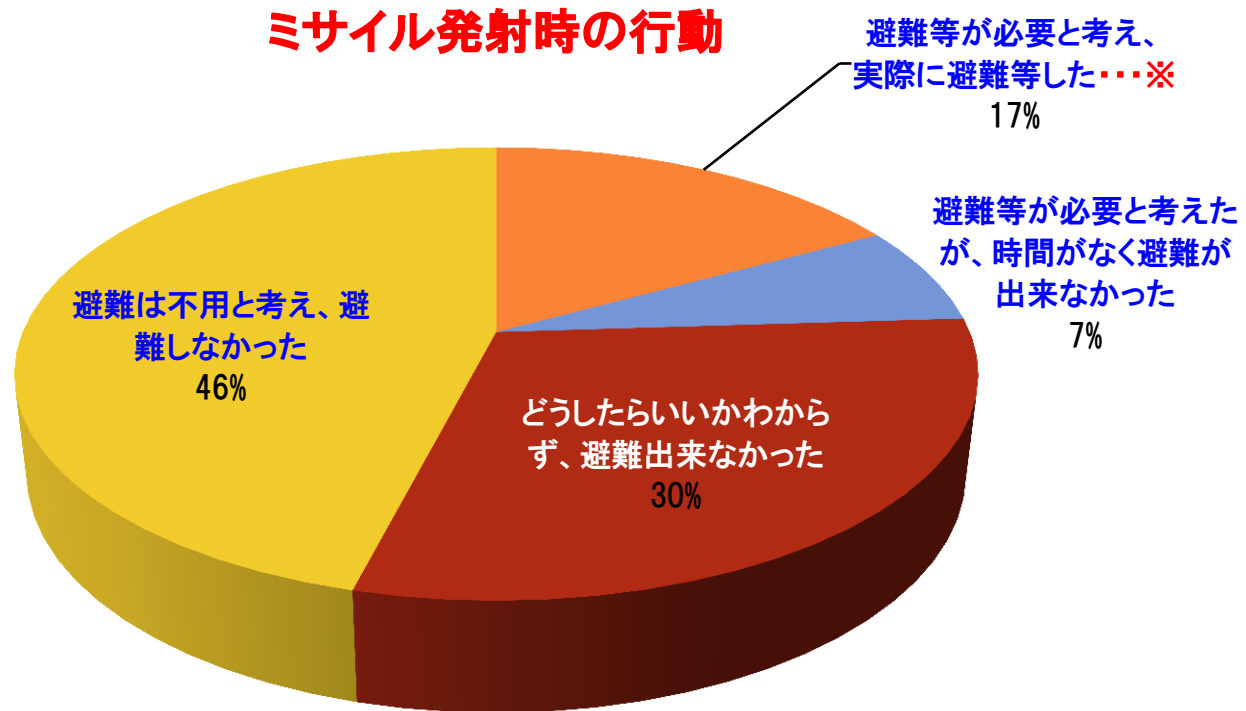
問4 情報の入手方法について(複数回答)



情報入力手段は、携帯電話への緊急速報が**71人**と一番多く、また、複数の手段により情報を入手している。(平均:1.5件の入手方法あり)



問5 ミサイル発射を知った時の行動について



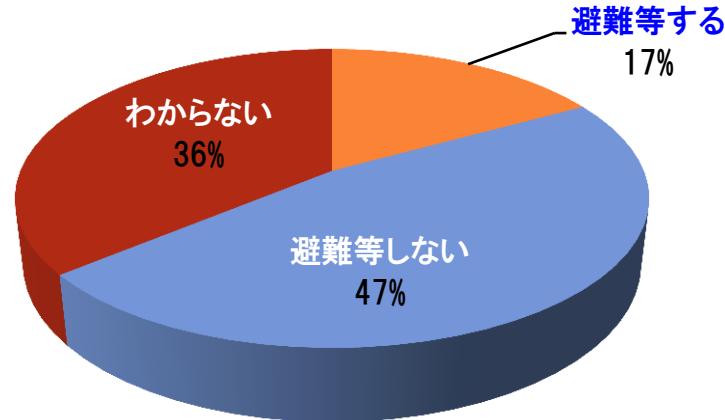
※避難した17人の内訳

屋内にいた方は、全て窓の無い部屋に移動、または窓から離れた。・・・16人
屋外にいた方は、近くの建物に移動した。・・・1人



問6 今後について

再発射時の避難の有無



「避難する」・・・17人

- 避難の必要性を感じた・・・11人
- 今回のミサイル発射で身の危険や恐怖を感じた・・・5人
- 自分の居場所によっては避難する・・・1人

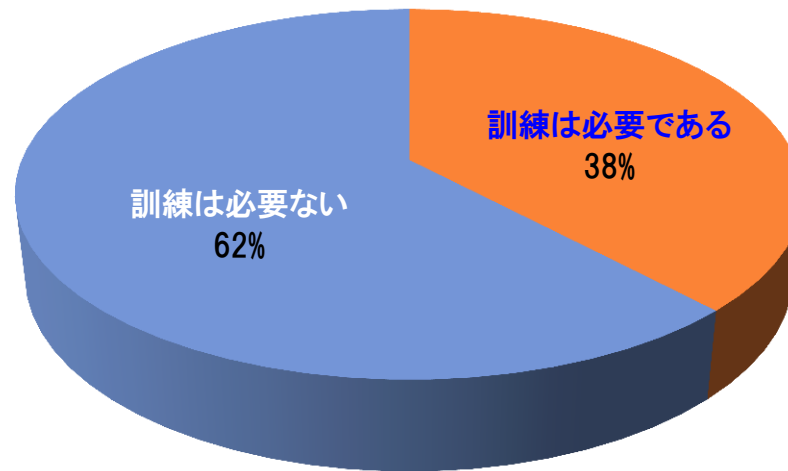
「避難しない」・・・47人

- 避難しても意味がない・・・34人
- 避難場所がない・仕事がある・高齢等・・・8人
- 自分の地域に着弾することはないと思っている・・・5人
- 危険や恐怖を感じない・・・1人



問7 避難訓練の必要性について

訓練の必要性



「訓練は必要である」の理由(38人)

- ・万が一の時に迅速に対応するため
- ・パニック抑制・避難場所を把握したい等

「訓練は必要ない」の理由(62人)

- ・訓練をしてもどうしようもない
- ・安全な避難場所(シェルター等)がない等



【アンケート結果から】

訓練の必要性については「必要である」が38%と回答、しかし「必要ない」との回答が62%と、必要性を感じていない市民が大勢を占めた。

このことから、ミサイル攻撃があった場合は、他の災害とは異なり、ここに避難すれば100%安全と言える場所が無いとの認識があり、このような結果になったと考える。

問6での「再びミサイルが発射された場合の避難」において、47%の市民が避難しないと答えているのは、その裏付けとなっている。

自宅にいた場合の対応方法として、窓から離れ頭を守ること最も大事であるということを市民は知っている。



【石巻市の今後の対応】

本市としては、**ミサイルが発射された時**
のために、市民に**冷静かつ安全**に行動を
起こせるよう、これまで行ってきた**啓発等**
を継続して参ります。

